

## 18. 社会的養護の現場で働く人材が育成・確保されるためのショートブック作成及び発信・伝達

高橋亜美（自立援助ホームあすなる荘）

### 【目的】

社会的養護に携わるケアワーカーには高い専門性・知識と技術が必須とされる。ケアワーカーがすぐに各々の現場で活用でき、日々の取り組みの振り返りにも繋げていけるような実践的且つ普遍的なプログラムを「自立援助ホームあすなる荘での取り組み」を土台にして作成しショートブック化したものを配布・伝達する。子どもへのケアワークの質の向上ひいては施設で暮らす子どもたちの幸せと最善の利益に繋がることを目的とする。

### 【方法】

自立援助ホームあすなる荘の取り組みをより多くの方にわかりやすく明瞭に伝えるためあすなる荘パンフレットの作成

あすなる荘パンフレットの配布

配布先は全国の児童養護施設、自立援助ホーム、都内の児童相談所、各関係機関

自立援助ホームあすなる荘（東京都清瀬市）での取り組み（22年かけて築き引き継いできた子どもと関わる上でケアワーカーとして大切にしていること）を実践・事例集としてまとめる

児童養護に関わる施設で人材確保・育成の為に積極的且つ先駆的な取り組みをされている施設への訪問、都内児童養護施設勤務職員へのインタビュー

訪問先	施設所在地	訪問日
自立援助ホーム東樹	京都府京都市	2008.11.11～12
児童養護施設鉄道弘済会	北海道札幌市	2009.7.14～15

あすなる荘実践事例集をもとにした学習会を年度内に東京都自立援助ホームスタッフ研修会で開催する予定

実践・事例集は全国56カ所の自立援助ホームと都内44ヶ所の児童養護施設に配布予定

## 【 結果及び考察 】

助成決定後すぐに実践・事例集のまとめを始めた。あすなる荘の22年間の実績と高橋自身のあすなる荘における8年間の子どもたちとの関わりから実践・事例集の作成においては比較的スムーズに進行できたが、実践・事例集が完成したところで、あすなる荘の取り組みそのものを正確且つ明瞭に誰でもがわかりやすく認知するための案内書（パンフレット）が併せて必要であることがあすなる荘のスタッフ会で持ち上がった。当初、助成の使途目的としてパンフレット作成費は取り入れていなかったが以下の理由からまずはパンフレット作成を優先的に行った。 a あすなる荘の存在、運営目的及び取り組みを社会的養護の従事者にコンパクトに知ってもらうため b 我が国においては未だ社会的養護の一般社会での認知度が非常に低いため広く社会に向けて（企業や個人）社会的養護を担う施設を知ってもらうことにより「社会的養護の施設及び従事する者が社会に支えられ守られながら働き続ける」という連携の構築に繋がることを強く期待した。

パンフレットは2種類（直接入所する子ども関係者用、支援して下さる個人・企業用）作成し、あすなる荘の理念、法的位置づけ、取り組み、入所に至る行程など福祉関係者でなくとも誰が手にとってわかりやすいものをデザイン事務所に受注して作成した。

パンフレット作成と同時に施設訪問とインタビューも行った。先駆的に活動されている自立援助ホームなどから社会的養護の子どもと関わる上での信条、支援方法なども多く学んだ（星の家においては見学のみ）他のホームの取り組みを知ることはあすなる荘の実践集作成時にも大変役立たせていただいた。また児童養護施設で働いている現場職員10名から現場での困難と実践集に盛り込んでほしい項目などヒアリングをおこなった。このヒアリングも実践集をより充実したものにするための大きな題材となった。

パンフレット完成後は全国の児童福祉施設、福祉機関、ホームを支援して下さっている方々に配布をした。高橋を講師としてよんでいただいた学習会、講演会などでも配布し社会的養護に認知を広めるため活用した。これらの取り組みは直接的には社会的養護を担う処遇職員には還元されるものではないが、社会的養護の現状・貧困が広く社会に認識されることが社会的養護のもとで働く人材の確保・育成の土台となることを強く感じた。社会的養護・児童福祉が社会のなかで孤立していかぬよう私たちが担っている活動と子どもたちの存在を知ってもらうことは必須であると考え。あすなる荘の発信から各施設関係者、マスコミ、教育関係者などからの反響は想像を上回る結果となった。

助成使途の第1の目的であった施設従事者へのあすなる荘の取り組みの伝達が今ようやくスタートしようとしている。1年かけて築いた土台の上で自信をもってあすなる荘の取り組みを各施設に発信していきたい。

【 経費使途明細 】

あすなる荘パンフレットデザイン料	1 5 0 0 0 0 円
パンフレット印刷費 ( 5 0 0 部 × 2 種類 )	1 3 4 0 0 0 円
パンフレット通信運搬費 ( 郵送費 3 8 0 × 1 4 0 )	5 3 2 0 0 円
あすなる荘実践・事例集印刷費 ( 2 0 0 部 )	1 6 0 0 0 円
施設訪問 ( 京都への交通費、宿泊費 ) × 1 人分	5 5 7 5 0 円
( 北海道への交通費、宿泊費 ) × 1 人分	5 8 2 1 0 円
インタビュー協力への謝礼 ( 図書カード 5 0 0 0 円 × 1 0 人分 )	5 0 0 0 0 円
合計	5 0 1 2 6 0 円